

## 第13 自殺予防対策事業

### 1 自殺予防対策事業の経緯

自殺対策基本法の改正（平成28年4月1日施行）により、市町村自殺対策計画を定めることが明記されたことを受け、本市では平成31年3月に“誰もが生きやすい岡崎市の実現を目指す”ことを基本理念に「いのち支える岡崎市自殺対策計画」を策定した。本計画に基づいて事業を推進し、自殺対策推進協議会及び各種作業部会にて進捗管理を行っている。

### 2 自殺者の動向

	岡崎市		愛知県		国	
	自殺者数 (人)	自殺率 (%)	自殺者数 (人)	自殺率 (%)	自殺者数 (人)	自殺率 (%)
H30年	51	13.6	1,004	13.7	20,031	16.1
R1年	65	17.4	1,024	14.0	19,425	15.7
R2年	60	16.0	1,113	15.3	20,243	16.4

(厚生労働省「人口動態統計」による。自殺者の住所地及び国内日本人のみで計上。)

※自殺率は人口10万対比で算出したもの

### 3 自殺に関する延相談件数

(単位：件)

	総数	20歳未満	20～39歳	40～64歳	65歳以上	不明
電話による相談	70	14	29	19	7	1
面接による相談	17	4	4	8	1	—
訪問による相談	11	1	7	3	—	—
計	98	19	40	30	8	1

※ 精神保健福祉相談再掲

### 4 「いのち支える岡崎市自殺対策計画」進捗管理

平成31年度から令和4年度までを計画期間とする「いのち支える岡崎市自殺対策計画」を推進するために、岡崎市自殺対策推進協議会及び岡崎市自殺対策推進協議会作業部会を開催している。

#### (1) 岡崎市自殺対策推進協議会

(単位：機関)

開催月	内容	参加機関（事務局除く）
8月 (書面開催)	令和2年度自殺対策事業報告 令和3年度自殺対策事業計画	30

## (2) 岡崎市自殺対策推進協議会作業部会

### ア 構成員

- (ア) 若年層対策作業部会  
市内各大学・短期大学等の学生対応職員等
- (イ) 生活困窮者対策作業部会  
労働関係機関、司法書士会、障がい者基幹相談支援センター、庁内関係課
- (ウ) 労働関係対策作業部会  
労働関係機関、産業保健関係機関、庁内関係課等
- (エ) 高齢者対策作業部会  
基幹型地域包括支援センター、庁内関係課等
- (オ) 自殺ハイリスク者対策作業部会  
精神科病院、二次・三次医療機関、警察、消防署等

### イ 開催状況

(単位：機関)

開催月	内容	参加機関（事務局除く）				
		若年層 対策	生活困窮者 対策	労働関係 対策	高齢者 対策	自殺ハイリ スク者対策
6月 (書面開催)	昨年度の振り返りと、今年度の取組について	5	6	7	3	10
2月 (WEB開催)	自殺者の動向について 今年度の重点事業の実績について 次年度の事業予定と目標について	2	4	7	2	8

## 6 重点対策事業（様々な対象に応じた対策）

### (1) 若年層（40歳未満）対策

#### ア 啓発物による相談先の周知

(単位：枚)

実施時期	内容	対象	配布数
7月	市内大学・専修学校等において、相談先とうつのチェックリストが記載されたうちわを配布	学生	773
3月	市内大学・専修学校等において卒業生に対し、相談先記載のクリアファイルを配布	学生	1,353

#### イ 生徒学生向けゲートキーパー研修の実施

(単位：人)

開催日	内容	対象	参加者数
11月8日	出前講座「気づいて よりそい つながるいのち」 講師 保健所職員	翔南中学校	516

※他2校は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

ウ 教職員向けゲートキーパー研修の実施及びSOSの出し方に関する教育の推進

(単位：人)

開催日	内容	対象	参加者数
8月6日	講演「その時までには何を準備し、その時どう動くか」 講師 三河病院 臨床心理士 和田 浩平 氏	市内小中学校 教職員	73
11月4日	出前講座「みんなが誰でもゲートキーパー」 講師 保健所職員	細川小学校 教職員	32

(2) 生活困窮者対策

ア 関係機関へのゲートキーパー研修

(単位：人)

開催日	内容	対象	参加者数
11月26日	講演1「人が追い込まれる苦しみとは～経験を通して～」 講師 ころほっとサロン 杉江 昌夫 氏  講演2「職員が身につけるゲートキーパーの基本について」 講師 三河病院 臨床心理士 和田 浩平 氏	市役所 職員	68

イ 連携体制の強化

(単位：部)

実施時期	内容	対象	配布数
通年	「悩みごとの相談一覧表」の配布	関係機関職員	422
通年	「あなたのお悩み相談できます」の配布	一般市民	1,230

(3) 労働関係対策

ア ゲートキーパーと相談先の認知度を増加させるための周知

(単位：か所)

開催時期	内容	対象	設置数
9月	市役所ふくし相談課、市内精神科医療機関にポスター掲示、 啓発物品の配布	一般市民	2
通年	郵便局に相談先カードの設置とポスター掲示	一般市民	39
通年	部会委員の所属部署に相談先カードの設置やポスター掲示	労働者	3

イ ラインケア・セルフケアとしてのメンタルヘルス対策及びゲートキーパーとしての人材確保

開催時期	内容	対象	実施状況
通年	企業向けメンタルヘルス WEB 研修のチラシの配布	一般企業	616事業所
通年	企業向けメンタルヘルス WEB 研修	一般企業	2回 (計146名)

#### (4) 高齢者対策

ア 出前講座による高齢者の地域活動の場におけるゲートキーパー研修 (単位：人)

開催日	内容	対象	対象者数
2月18日	出前講座「みんなが誰でもゲートキーパー」 講師 保健所職員	老人クラブ	9

イ 出前講座による高齢者の生活に関わる職員等に対するゲートキーパー研修

実施時期	内容	対象	実施状況
通年	出前講座「みんなが誰でもゲートキーパー」 講師 保健所職員	関係機関職員等	2回 (計82名)

ウ 高齢者の生活に関わる職員等に関するゲートキーパー研修 (単位：人)

開催日	内容	対象	受講者数
12月13日	地域で役立つ「気づき 声かけ 傾聴 つなぎ 見守り」の ポイント 講師 人間環境大学人間環境学部心理学科 助教 二宮 有輝氏	地域支援者 関係機関	56

エ 「生活についてのチェックリスト」送付対象者への普及啓発 (単位：人)

実施時期	内容	対象	対象者数
8月	前年度の特定健康診査未受診者へ送付する「生活についての チェックリスト」に相談窓口チラシを同封	75歳以上の 左記対象者	7,998

#### (5) 自殺ハイリスク者対策

ア 連絡票等による多機関連携

市内の救急病院へ搬送される自殺未遂者の再企図防止のため、連絡票を活用した相談支援事業を展開している（市民病院、北斗病院）。令和3年度から、連絡票以外の簡易な支援連携を確保するため「まめ吉相談カード」を関係機関等に配布している。

※ハイリスク者支援に関わる支援者への人材養成事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

#### (6) 自死遺族支援

ア 分かち合いの会 (単位：人)

開催日	内容	対象	参加者数
11月7日	リメンバー名古屋自死遺族の会 in 岡崎（分かち合いの会）	自死遺族	7

イ 個別支援 (単位：件)

開催月	内容	対象	相談件数
9月	リメンバー名古屋自死遺族の会メンバーによる個別相談	自死遺族	1

※年間4回予定のうち、3回は予約が入らず開催なし。

## 7 その他の対策事業（いのちを支える対策）

### (1) 普及啓発事業

ア 自殺予防週間（9月10日～16日）

(ア) 街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(イ) その他の啓発事業

開催日等	啓発方法	周知人数等
7～8月	市内大学等の学生へ「こころ元気ですか？（相談窓口）」のうちわ配布	773枚
9月10日～16日	市内精神科医療機関にポスター掲示	2枚
	企業へ「うつってなあに？」のメール配信	—
	保健所公用車への「眠れてますか？」マグネット貼付	9台
	市役所等に厚生労働省のポスター掲示	2枚
	岡崎市ふくし相談課にてポスター掲示、啓発物品を配布	1枚 150個
	保健所窓口にて啓発物品を配布	50個
	保健所の各種健診で啓発物品を配布	200個
	職員掲示板でゲートキーパーについて掲載	—

イ 自殺対策強化月間（3月1日～31日）

(ア) 街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(イ) その他の啓発事業

開催日等	啓発方法	周知人数等
3月1日～31日	保健所の各種健診で啓発物品を配布	200個
	自殺対策推進協議会各作業部会関係機関で啓発物品を配布	2,310個
	市職員掲示板でゲートキーパーについて掲載	—
	市役所等に厚生労働省ゲートキーパーのポスター掲示	6枚
	保健所窓口にて啓発物品を配布	—
	保健所公用車への「眠れてますか？」マグネット貼付	9台
3月	登録企業・商工会議所に働く世代の健康情報として「自殺要因の1つであるうつ病の記事と相談窓口」をメールで案内	—
3月10日	自殺対策普及啓発事業講演会 「若者のこころに寄り添うために今、私たちが知っておくこと」	13人
3月28日	ラジオ局エフエムEGA0にて啓発番組の放送	—

ウ その他の取組み

(単位：枚)

開催日	内容	対象	配布数
—	フードドライブにて相談窓口チラシの配布	フードドライブ 来所者	80

(2) 人材育成事業

ア 「岡崎市みんなが誰でもゲートキーパー講座」動画制作事業

庁内職員、関係者及び一般市民に対し、ゲートキーパー講座の受講機会を提供することで、ゲートキーパーの理解を促し、地域における身近な支援者となる人材を養成するため、動画を制作し、DVDにて配布、Youtubeでの配信を行った。

イ 協働によるゲートキーパー研修等

(単位：人)

団体名	実施時期	内容	受講者数等
リボーン岡崎	10月	「岡崎市みんなが誰でもゲートキーパー講座」動画制作におけるロールプレイへの出演依頼	—
リボーン岡崎	11月20日	学区福祉委員会でのゲートキーパー養成研修にオブザーバーとして参加	13

(3) こころホットライン事業（こころの健康電話相談）

ア 目的

様々な事情や悩みが原因で、孤立感・焦燥感を抱え、心理的に追い込まれたかたの苦しみや悩みを受容し、適切な医療や生活上の助言を行うことによって、自殺予防を推進する。

イ 委託機関

社会福祉法人岡崎市福祉事業団（平成21年度から実施）

（相談員職種：精神保健福祉士、公認心理師、社会福祉士等）

ウ 電話相談受付日時

平成3年4月1日から令和4年3月31日

平日午後1時から午後8時まで（祝日、年末・年始を除く）

午後5時15分以降の相談は2回線対応（平成29年度から実施）

エ 対象者

こころの健康について悩んでいる市民、家族等

オ 相談実績

(ア) 相談件数

(単位：件)

		日中(13時～17時15分)		夜間(17時15分～20時)		合計	
		実件数	延べ件数	実件数	延べ件数	実件数	延べ件数
R1年度		214	925	459	1,354	673	2,279
R2年度		189	975	410	1,359	599	2,334
R3年度		197	1,009	416	1,377	613	2,386
内訳	男	110	614	339	752	449	1,366
	女	87	395	77	625	164	1,020

(イ) 年代別相談件数 (単位：件・%)

年代	実件数	延べ件数
10歳代	5 (0.82)	5 (0.21)
20歳代	25 (4.08)	40 (1.68)
30歳代	46 (7.50)	94 (3.94)
40歳代	78 (12.72)	1,091 (45.73)
50歳代	44 (7.18)	540 (22.63)
60歳代	21 (3.43)	121 (5.07)
70歳以上	27 (4.40)	122 (5.11)
その他	367 (59.87)	373 (15.63)
計	613	2,386

(ウ) 相談内容 (重複あり) (単位：件・%)

内容	男	女	計
心の健康づくり	977 (39.93)	902 (44.39)	1,879 (41.95)
精神疾患の相談	437 (17.86)	395 (19.44)	832 (18.58)
アルコール等依存症問題	6 (0.25)	2 (0.10)	8 (0.18)
自殺未遂関連	104 (4.25)	83 (4.08)	187 (4.18)
法律相談 (債務等)	1 (0.04)	5 (0.25)	6 (0.13)
労働関係の相談	16 (0.65)	16 (0.79)	32 (0.71)
身体健康相談	108 (4.41)	57 (2.81)	165 (3.68)
生活保護相談	1 (0.04)	3 (0.15)	4 (0.09)
虐待等人権相談	1 (0.04)	4 (0.20)	5 (0.11)
学校・いじめ等相談	1 (0.04)	0 (0.00)	1 (0.02)
職場・メンタルヘルス等相談	11 (0.45)	10 (0.49)	21 (0.47)
子育て相談	0 (0.00)	14 (0.67)	14 (0.31)
孤立予防に関する相談	363 (14.83)	398 (19.59)	761 (16.99)
その他	27 (1.10)	43 (2.12)	70 (1.56)
不明	394 (16.10)	100 (4.92)	494 (11.03)
計	2,447	2,032	4,479

※小数点3位以下四捨五入

※割合については誤差あり